

敦賀市立中央小学校 保護者の皆様へ 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の対策

4月18日に6年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。その結果と分析から見てきた本校児童の特徴と課題についてお知らせいたします。

教科に関する結果から

本校6年生は、国語・算数の多くの設問で、全国・県の平均正答率を上回りました。これは、授業や家庭学習で、意欲的にていねいな学びを積み重ねている成果です。全体に良好な結果でしたが、課題もいくつか見つかりました。その結果を分析し、今後の対策をまとめました。

国 語

良 好

- ◎漢字を文の中で、正しく使うこと
 - 期間 ○比べて △意外(誤答例…以外)
- ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること
- ◎目的や意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめること

課 題

- △敬語を正しく使ってインタビューすること **課題1**
- △図表やグラフなどから大事なことを読み取って、自分の考えが伝わるように条件に合わせて書くこと **課題2**
- △書かれている文章の関係が、原因と結果の関係であることを理解すること **課題3**

課題1 敬語(言語文化)

聞きのがしたことを相手に確かめるときに用いる敬語はどれでしょう。

- 「○○さんが ② ことをもう一度 ① ① いいですか。」
- ⑦ おっしゃった ① 申した
⑤ うかがって ⑤ お聞きになつて

★答：①→⑦ ②→①

課題2 条件作文(書くこと)

学校の米作りの問題点とその解決方法について次の条件に合わせて書きましょう。

条件

- 1 問題点については、文章①とグラフからわかること
- 2 解決方法については、文章②をもとにする
- 3 六十字以上百字以内

課題3 情報の扱い方(読むこと)

次の2つの文にはどんな関係があるか、説明しよう。

- 1 農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。(部分・結果・目標・考え)
- 2 雑草の量に対して雑草取りが追いついていない。(全体・原因・計画・事例)

★答：結果・原因

支 援 策

- 敬語や主語・述語・修飾語等の基本的な内容の理解が深まるように、学年に応じて短作文や推敲に繰り返し取り組みます。また、意図的に敬語を使う場面を増やします。
- 文章と図表などの資料を関係づけて読むことを通して、内容や文章構成について、より深く理解する学習を充実させます。
- 条件に合わせて「明確に・わかりやすく・説得力のある」考えを書き、伝えたり評価し合ったりする交流活動を、計画的に取り入れていきます。
- タブレット等を活用して、「わからない言語や漢字を調べる」「繰り返し練習する」「自分とは違う考えから自分の考えを広げ深める」などの活動を増やします。

算 数

良好

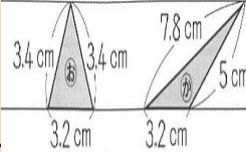
- 伴って変わる2つの数量について、比例関係にあることを理解し、表の知りたい数を求めること
- 加法と乗法の混合した整数の計算を、分配法則を用いる等、工夫して正しく計算すること
- 正方形や台形等の四角形の意味や性質を理解して考えること

課題1

正三角形の意味と性質や、底辺と面積の関係を理解して、面積の大小の理由を説明すること

○テープの中にかかれた2つの三角形の面積について、どのようなことがわかるか、そのわけも言葉や数を使って書きましょう。

答え ③と④の面積は等しい。わけは、三角形の面積は底辺×高さ÷2で求められる。2つの図形の底辺の長さは3.2cm。高さもテープの幅で等しいから、2つの図形の面積は等しい。



支援策

- つまずきの多い内容はタブレット等も活用して、重点的に個に応じた習熟を図ります。
- タブレット等も活用して、考え方やわけを言葉や数、式を用いて適切に書いたり説明したりする交流場面を増やし、理解力と表現力を高めます。
- 総合的な学習や日常生活の場面で、割合図形・測定・変化と関係・データの活用等を意図的に活用する場面をつくり、学習したことが日常生活とつながり、よさが実感できるように工夫します。

課題2

(2位数)÷(1位数)の筆算について図を基に各段階の商の意味を考えること

○十の位に立てた「2」は横の式の「あいうえ」のどの計算をした結果を表していますか。

答え い

$$\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$

$$\begin{aligned} 66 \div 3 &= (60 + 6) \div 3 \\ &= \frac{60}{3} + \frac{6}{3} \\ &= 20 + 2 \\ &= 22 \end{aligned}$$

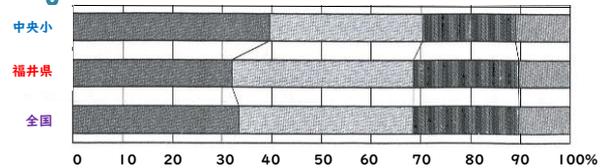
学習状況調査の結果から

■...よくできる ■...できる ■...あまりできない ■...できない

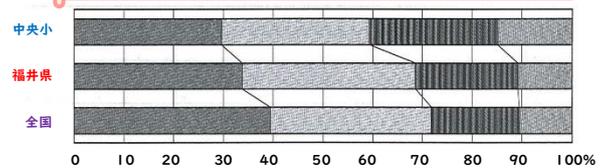
「人が困っているときは助けている」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」「先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところを、わかるまで教えてくれている」と答える児童が非常に多く、友達や教師との信頼関係が、楽しい学校生活や前向きな学びの土台となっていることが窺えました。

一方、県や全国より「読書は好きではない・新聞は読まない」傾向がみられました。授業や朝活動で本や新聞への興味関心が高まる活動を工夫していきます。

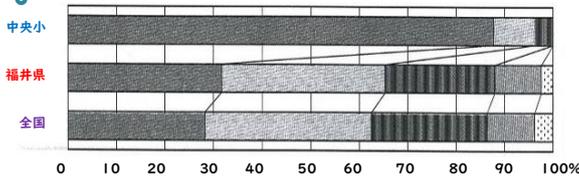
困りごとや不安がある時に先生に相談できますか



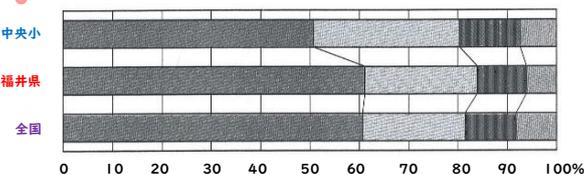
読書は好きですか



PCやタブレットを授業でどの程度活用しましたか



互いの意見のよさを生かして、解決方法を話し合えますか



また、本校6年生は「PCやタブレットを、ほぼ毎日授業で活用している」と答え、ICTの活用が日常化し、学びの定着や豊かさにつながっていることがわかりました。

一方、「自分と違う意見について考えること」「立場や考えの違いを意識して話し合うこと」「感想や意見を伝え合い自分の考えのよいところを見つけること」については、消極的であることもわかりました。今後もタブレットの有効な活用の仕方について研究を重ね、「主体的に学び合う力」「個に応じた学びを広げ深める力」の充実に努めます。

これらの結果を生かして、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を感じる授業、新しい時代を「たくましく生きる力」を育む教育活動になるよう、全学年で取り組んでいきます。各ご家庭におかれましても、お子様の成長につながるお声かけやご支援をよろしくお願いいたします。

